

\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: °



# みらいつうしん

## 3月号

2020年3月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子



\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ° 。 , :\*: ° ☆。 , :\*: ★。 , :\*: °

### さらなる成長を願って

花々の便りが嬉しい季節となりました。園庭の梅の花も赤く色づき始め、子ども達に「春がやってきたよ」と話しかけているようです。先日、楽しみにしていた「ワクワクひろば・ワクワクげきじょう」が、たくさんの皆様のご声援と見守りの中で終了し、子どもたちは、少しリラックスした環境で、自分の遊びを見つけて楽しんでいます。そして、「ワクワク」で体験した思いや学びを活かした遊びも、あちらこちらで散見され、微笑ましく感じます。しかし、この「ワクワクげきじょう」の舞台裏には、担任と子ども達のたくさんのドラマがありました。作品の完成までには、お互いに心を通わせ、笑ったり、泣いたり、時には意見のぶつかり合いをしながら一つ一つの経験を積み重ねてきました。大人は、どうしても結果の良し悪しに着目してしまいがちですが、重要なのは1つの目標に向う時に、いかに関わり何を学んだかの過程が大切であり、この体験こそが、将来の人生でかけがいのない宝物になると常々感じています。また、練習風景を見学している他学年の子ども達が、きらきらとした眼差しを浮かべながら、「僕もやってみたい、私はあれがいい」「かっこいい」「素敵」等といろいろな思いを素直に発言し、動きや台詞を真似して楽しんでいる姿や「こうしたほうがいいよ!」「あーしてみたら!」などのアドバイスを受けて、「みんなが応援してくれるから頑張る」と意欲が湧いてくる子どももいて、たくさんの思い入れがありました。これは、日頃から、丁寧に子どもに寄り添い教育・保育をしてきた成果がここにきて現れ、全園児が共に生活する中で、着実に成長している証であると嬉しく思いました。

先日、川崎市父母の会連合会に参加し、テレビでもドラマ化された院内学校の「赤鼻センセイ」のモデルとなった副島賢和先生の講演を拝聴して参りました。そのお話の中で、病気を抱えているかいないかに関係なく、子どもは、周囲の大人の何気ない言葉や態度で傷つきその子の人生に大きな傷跡を残してしまう。「今日の日、みんなも初めて」ということを常に念頭に置き、子ども達の気持ちや頑張りを理解する心と対応を考えなくてはならない。子どもの成長で、一番大切なのは、大人の受容と人との関わりだと教えていただき、改めて、みらいこども園の主體的な遊びを大切に、生きた学びが出来る教育は、今の子ども達に必要であることを確信しました。

年長組の子ども達と過ごす日々は残り少なくなりましたが、園生活の中で出会う様々な発見にときめき、友達や保育者と喜びを分かち合ってきた日々の場面を思い出すと、子ども達の生き生きとした笑顔と成長が目に見え心が温かくなります。園での思い出と共に小学校入学への良き架け橋になるよう努めたいと思います。また、他学年の子ども達についても、次の学年にスムーズに繋げられるよう、これからも職員一丸となって、細かな教育・保育をして参ります。この一年間の保護者の方々のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

